

しているか。

答 企画課長（佐渡山安正）

平成20年度から庁舎、学校、公共施設等において、電力消費量下げるデマンド化を設置。化石燃料軽減を図る軽自動車等の導入。緑の回廊計画に基づいて植栽を随時行なっている。

質 宮崎 豊

これから予定されている建物に、紫外線をカットするガラス、LED蛍光灯、太陽光発電を導入する計画はありませんか。

答 企画課長（佐渡山安正）

村民の意識高揚においても有意義である。今後導入に向けていければと考えてます。LED蛍光灯、将来的には導入に向けて取り組むべきと考えてます。窓ガラス遮熱効果を上げる断熱塗料塗布する補助金を活用、検討したい。

赤土の海への流出を防ぐ対策はどのようなように取られているか

質 宮崎 豊

県や国とタイアップして河口付近で赤土流出を防ぐ大規模な施設はできませんか。

答 村民課（仲西智直）

各関係機関と連携して対策ができるかどうか、取り組んでいきたい。

長嶺 律夫 議員

奨学資金について

質 長嶺律夫

奨学金の申し込み状況は。

答 学校教育課長（津嘉山 弘）

22年度の前定は33名です。申込者は県内13名、県外17名となっている。

質 長嶺律夫

19年度まで1千400万円、20年度から1千200万円に減ってきた。利用者が少なくなってきたということがあるか。

答 学校教育課長（津嘉山 弘）

20年から基金運用でやるようにとあり、償還金返還があった分を基本として続けていきたい。33名の数値は概ね償還金の額に合わせた人数になっています。

質 長嶺律夫

所得も踏まえて選定していくことになりませんか。

答 学校教育課長（津嘉山 弘）

33名の枠内で運用する部分は

所得制限しておりません。枠を超えた場合は所得が大きい人は外して対応しています。

癌予防について

質 長嶺律夫

12歳ぐらいでワクチンを接種しますと発症を7割抑えることができる。接種への取り組みは可能ではないか。

答 福祉健康課長（金城尚子）

完全に予防するにはワクチンだけではなく検診も不可欠、児童生徒に対する接種は国の動向を見ながら検討していきたい。

下水道処理施設について

質 長嶺律夫

施設の分散や処理水の有効活用も検討されていたか。

答 上下水道課長（崎浜義紀）

処理管路が長くなり経済性を



計画道路について

質 長嶺律夫

恩納診療所の北側計画道路などな状況か。

答 建設課長（古賀弘之）

福祉基本計画の中で位置づけだったと思います。一部で用地買収が厳しいということで実施されなかった。地域と協議しながら検討したい。

意見書の扱いについて

質 長嶺律夫

意見書はどう反映されているのか。

答 企画課長（佐渡山安正）

地域に与える影響、生活環境に及ぼす影響を推し測るため聴取している。

質 長嶺律夫

意見書の要望がなされていない、対策を考えられるのか。

答 企画課長（佐渡山安正）

こういう形で許可をしましたという開示は今後検討していきたい。

吉山盛次郎 議員

真栄田地区のかんがい施設について

質 吉山盛次郎

真栄田区公民館の下に遊休地が結構あり水路を改修して活用できる方策はないか。

答 農林水産課長（大城哲夫）

平成13年適正化事業で設置した簡易給水施設がまだ活用されてません。下水処理施設から農業用水に活用される施設があり垂川周辺の状況や地域の意向を調査したい。

質 吉山盛次郎

垂川を活用できる方法で考え

ていただきますか。

答 農林水産課長（大城哲夫）

放置された水路で活用されるかどうか費用対効果もあり補助メニューも調査したい。先決は遊休地解消だと思っています。早急に取り組みたい。

学童保育について

質 吉山盛次郎

設置されていない地域及び既設の地域において学童保育はどのように運用されているか。

答 福祉健康課長（金城尚子）

学童保育が設置されない地域からの要望はありません。あかちゃん学校は名嘉真区から谷茶まで幼稚園から小学校4年生まで52名、クジラ隊は富着から真栄田まで幼稚園から小学校5年までの47名が利用しています。

質 吉山盛次郎

設置されていない地域に学校内設置は出来ないか。

答 学校教育課長（津嘉山 弘）

具体的な計画があがってきた段階で実際可能かどうか検討させていただきます。

質 吉山盛次郎

地域塾と合体して連動した学童保育も可能じゃないか。

答 学校教育課長（津嘉山 弘）

私達は教育施設を抱えていますから、こういった需要があれば積極的に開放し協力をしていく立場にある。そこら辺は福祉と検討しながら学校教育としては施設の開放も含めて対応していくスタンスで考えている。地域塾も子ども達の居場所作りにもつながることでこれを学校の空き教室というのは考えておりません。私達が担うことができる部分については積極的に協力していきたい。

表紙で振り返る議会だより

平成18年11月～
平成22年8月



議会広報委員会は、これまでの広報調査特別委員会から平成19年3月に常任委員会となり、今期は90号から105号まで発行してまいりました。次号からは新議会広報委員会の発行となります。

